

山陽小野田市病院事業収支計画

(平成27年度～令和6年度)

(新病院改革プラン参考資料)

山陽小野田市病院局

(令和2年3月改訂)

目 次

第1	新改革プランに基づく病院収支計画の見直し・・・	2
第2	収支計画における課題・・・・・・・・・・・・・・・・	3
第3	平成26年度の状況と平成27年度以降の見通し	
1.	病院事業収益について・・・・・・・・・・・・・・・・	6
2.	病院事業費用について・・・・・・・・・・・・・・・・	15
3.	資本的収入及び資本的支出について・・・・・・・・	26
第4	収支計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	31

第1 新改革プランに基づく病院収支計画の見直し

1. 見直しの経過等

これまでに策定した病院事業に関する収支計画等については、新病院建設に関する収支計画概要（平成23年2月）、病院事業改革プラン（平成23年10月改定）、新病院基本計画書中の事業収支概要計画（平成23年11月）及び新病院建設並びに新会計制度変更に伴う病院事業収支計画変更分（平成25年3月）がある。いずれも、病院事業改革プラン（平成23年度～平成27年度）を基本として実情を踏まえ策定したものである。

平成28年3月の改定については、新公立病院改革ガイドライン（平成27年3月31日 総務省自治財政局長通知）による新病院改革プランの収支計画の附属資料として作成するものである。具体的には、平成26年10月1日に開院した新病院の入院・外来患者数の動向や平成27年7月に完了した新病院建設事業の終了に伴う企業債借入金の償還計画、病院統合に伴う長期借入金の返済を含め、新改革プランにおける計画の基礎となる数値を作成したものである。

また、この度の改訂については、一時借入金の削減を目的とした一般会計からの繰入れに伴い収支の変更があるため、これも含めて一部見直しを行うものである。

収支計画期間については、新改革プランでは平成28年度から令和2年度までの5年間であるが、本収支計画では新病院建設後10年間とし、平成27年度から令和6年度までとする。

2. 収支計画作成について留意した事項

- (1) 計画は予算書・決算書の「収益費用明細書」及び「資本的収入及び支出明細書」の順に記載した。
- (2) 損益計算書に適合させるため、収益及び費用の個別明細については、消費税等（消費税及び地方消費税）を除いた金額で表示した。

第2 収支計画における課題

1 これまでの収支状況及び資金不足額の推移について

(1) 入院収益・外来収益の推移

入院について、平成24年度以降、病床稼働率は70%台で、1日当たりの入院患者数も170人に満たない状況であったが、平成26年10月1日から新病院の診療開始以降移転の影響もあり、患者数は徐々に回復し、1月以降は80%台となり、入院収益についても逡増している。

ただし、近年の介護施設等の増加及び近隣圏域での開院等の影響も含め、季節的な増加を除き、入院患者数の大幅な増員は厳しい状況となっている。

外来について、平成24年度以降患者数は1日当たり430人程度であるが、平成25年度からの院外処方の段階的实施による投薬用薬品収益の減少に伴い外来収益は大幅に減少となっている。

院外処方の完全実施(院外処方率95%)は平成26年度からであり、外来収益の減少以上に投薬用薬品費の減少となっており、一定の成果をあげている。

平成22年度から平成26年度までの入院・外来の概要は次表のとおりである。

入院・外来患者数及び収益等の推移

(千円)

年 度	H22	H23	H24	H25	H26
1. 入院					
(1)入院患者数(人)	66,053	63,070	57,776	60,553	58,812
(2)入院患者数(1日当)	181.0	172.3	158.3	165.9	161.1
(3)入院収益(千円)	2,134,371	2,084,482	1,991,447	2,093,191	2,027,295
(4)入院単価(円)	32,313	33,050	34,468	34,568	34,471
(5)病床稼働率(%)	84.2	80.1	73.6	77.2	74.9
(6)平均在院日数(日)	15.3	14.6	13.7	13.9	12.8
2. 外来					
(1)外来患者数(人)	109,133	109,685	105,571	103,966	105,066
(2)外来患者数(1日当)	449	450	431	426	434
(3)外来収益(千円)	1,367,000	1,410,442	1,328,834	1,160,777	801,772
(4)外来単価(円)	12,526	12,859	12,587	11,165	7,631
3. 合計					
(1)入院・外来患者数	175,186	172,755	163,347	164,519	163,878
(2)入院・外来収益	3,501,371	3,494,924	3,320,281	3,253,968	2,829,067
※投薬用薬品費の推移	549,170	561,997	508,397	356,756	70,551

(2) 資金不足比率（地方財政法）について

旧山陽市民病院統合時（平成21年度）の資金不足比率は23.8%で、前改革プランでは平成25年度に資金不足を解消する計画であったが、解消に至らず、4,740万円（1.3%）の資金不足額を生じた。

また、平成26年度において、新病院建設及び移転に伴う入院収益の減少、各種経費の増加に伴い2億9,617万円（9.4%）の資金不足を生じた。

資金不足額については、病院特例債の最終償還年度の平成27年度において、一般会計からの繰入れにより解消した。

資金不足額（率）の推移 (千円)

区 分	H22	H23	H24	H25	H26
資金不足額（千円）	586,769	230,247	171,826	47,397	296,171
資金不足率（%）	15.5	6.1	4.8	1.3	9.4
一般会計特別繰入金	190,000	250,000	70,000	100,000	88,968

(3) 新病院建設の事業費内訳及び財源内訳表

新病院建設の総事業費は、66億6,000万円、企業債借入額は、新病院建設工事等36億9,820万円、医療機器及び医療情報システム11億4,340万円で、合計48億4,160万円で、当初計画（平成24年度計画）の借入予定額44億800万円を4億3,360万円上回った。

1.建設事業費 (千円)		H24～H26 年度別実績内訳			
区 分	H24～H26	H24	H24	H25	H26
	総事業費	当初計画	事業費	事業費	事業費
(支出)					
1. 新病院建設工事・実施設計	5,098,370	4,500,000	204,395	1,243,333	3,650,642
2. 医療機器・情報システム・什器備品	1,441,463	1,200,000			1,441,463
3. ソフト事業(BCP, 移設費他)	120,665	66,000	22,575	8,000	90,090
支 出 合 計	6,660,498	5,766,000	226,970	1,251,333	5,182,195
(収入)					
1. 補助金	57,227		280	10,308	46,639
2. 企業債(建設事業)	3,698,200	3,375,800	124,900	924,700	2,648,600
〃 (医療機器・医療情報システム)	1,143,400	1,025,000			1,143,400
企業債合計	4,841,600	4,400,800	124,900	924,700	3,792,000
3. 一般会計出資金	1,361,100	1,299,200	40,800	308,200	1,012,100
4. 内部留保、起債対象外事業負担金	400,571	66,000	60,990	8,125	331,456
収 入 合 計	6,660,498	5,766,000	226,970	1,251,333	5,182,195

注 総事業費の内、外構工事等、約3億2,900万円を平成27年度に繰越した。

(4) 病院統合時の資金対応

病院統合時に約20億円の資金不足額が生じ、これを解消するため、旧小野田市民病院の内部留保3億円のほか17億円の資金手当が必要であり、退職手当債7億5,000万円、公立病院特例債4億3,200万円、他会計長期借入金5億2,000万円で補填した。

退職手当債の償還は平成25年度をもって終了し、公立病院特例債は平成27年度で償還が終了した。

一般会計からの長期借入金については平成21年度に4,000万円、また、平成25年度から年次的に返済を行っているが、工業用水道事業会計からの長期借入金3億5,000万円についてはこれまで返済計画を繰り延べている。

新病院建設に伴う企業債（医療機器及び医療情報システムに係るものは5年償還（1年据置））であり、返済が重なり資金的に厳しい状況となる。

建設改良等以外に充てた長期借入金残高 (千円)

区分・年度	H22	H23	H24	H25	H26
退職手当債	325,120	150,700	12,360	0	0
公立病院特例債	432,000	347,755	262,445	176,059	88,581
一般会計借入金	130,000	130,000	130,000	108,340	86,680
工水会計借入金	350,000	350,000	350,000	350,000	350,000
合計	1,237,120	978,455	754,805	634,399	525,261

(5) 地域医療構想を踏まえた役割の明確化

山口県の地域医療構想では、宇部・小野田医療圏域においては回復期病床が不足しており、高度急性期、急性期及び慢性期病床が過剰と推計されている。

当院は当面はこれまでと同様の急性期病床として計画することとしていたが、令和元年9月に厚生労働省より再検証の対象病院とされたため、地域医療構想及び経営改善の両面から一部の病棟を地域包括ケア病棟に転換することとした。

ただし、地域医療構想により病床機能の変更があれば、新病院改革プランの見直しに伴い当計画を変更することもあり得ると考えている。

なお、地域包括ケアシステム構築の役割の中で、介護施設・福祉施設との更なる連携が求められており、市の福祉部と密接に連携をとりながら、その推進を行っている。

第3 平成26年度の状況と平成27年度以降の見通し

1 病院事業収益について

(1) 入院収益等の実績について

病床稼働率は、平成22年度までは概ね84%台を保っていたが、平成23年度以降75%程度と低減しており、26年度は1日平均患者数161.1人、病床稼働率74.9%、入院収益20億2700万円程度となった。病床稼働率の低減については、平均在院日数の影響、また、高齢者が増加する中で近年の介護施設の充実等が考えられる。

平成27年度以降の計画数値は、新病院開院の平成26年10月以降の患者数等を参考として今後の計画とする。但し、移転準備として新たな入院患者の抑制等により9月末には60人まで入院患者数を減少させたことに伴う影響が年末まで続いたことから、平成27年1月以降の患者数及び平成28年1月～3月までの実績（見込）を参考として各施策に伴う要素を考慮し計画数値の基本とする。

平成27年1月～12月までの1年間の患者数実績（見込）は次表のとおり。

月別	入 院					外 来			
	入院患者数	入院1日平均	入院収益(千円)	入院単価(円)	病床稼働率	外来患者数	外来1日平均	外来収益(千円)	外来単価(円)
1月	5,442	175.5	203,291	37,356	81.6	9,013	474.0	69,329	7,692
2月	5,287	188.8	186,749	35,322	87.8	8,379	440.8	65,454	7,812
3月	5,355	172.7	200,706	37,480	80.3	9,295	422.5	74,066	7,968
4月	5,438	181.3	169,926	31,248	84.3	8,980	427.6	77,279	8,606
5月	5,257	169.6	170,106	32,358	78.9	8,154	453.0	71,432	8,760
6月	5,179	172.6	179,866	34,730	80.3	9,183	417.4	77,903	8,483
7月	5,405	174.4	208,170	38,514	81.1	9,344	424.7	79,711	8,531
8月	5,452	175.9	174,347	31,978	81.8	8,531	406.2	77,929	9,134
9月	5,445	181.5	200,828	36,883	84.4	8,607	453.0	76,738	8,915
10月	5,378	173.5	198,378	36,887	80.7	8,879	422.8	84,068	9,468
11月	5,537	184.6	184,984	33,409	85.9	8,339	438.9	76,195	9,137
12月	5,283	170.4	199,678	37,796	79.3	8,649	455.2	80,820	9,344
合計	64,458	176.6	2,277,029	35,325	82.1	105,353	433.5	910,924	8,646

(2) 平成29年度以降の入院患者数等の見込み

①入院患者数（病床稼働率）

新病院開院後については、医師の増員、また、患者1人当たりの病床面積の拡大や個室の充実などの入院環境の改善に伴い、平成26年1月以降の実績（見込）も参考とし、平成29年度以降の患者数及び入院単価を見込む。

②入院単価

1人当たりの入院単価については、新たに療養環境加算1600万円、重症者等療養環境加算1000万円取得すること、また、病棟での服薬指導の充実等により、各種加算を取得しており、平成29年度は36,373円、平成30年度は36,328円の各実績、令和元年度は37,396円、令和2年度は38,580円の見込みとする。

入院収益（実績及び計画）

年 度	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2
病床数	215	215	215	215
病床稼働率（%）	84.7	83.6	81.4	83.7
1日平均患者数(人)	182	180	175	180
1人当たり単価(円)	36,373	36,328	37,396	38,580
平均在院日数（日）	15	15	17	17
年間入院収益(千円)	2,417,744	2,383,818	2,381,528	2,534,693

(3) 平成29年度以降の外来患者数等の見込み

① 患者数（1日平均）

外来患者数については、平成23年度までは450人前後で推移しており、平成24年度からも減少傾向が認められる。平成25年度以降430人で新病院開院後も同様の傾向が続くため、平成29年度は408人、平成30年度は414人の各実績、令和元年度及び令和2年度は419人とする。

② 外来単価

外来単価については、平成25年度中に院外処方を段階的に行い、平成26年度から完全実施で、院外処方率95%で推移している。院外処方を実施する前の実績12,500円程度から薬価収益を差し引いた額を基準として算定し、これに透析の増床や平成27年4月から実施の外来化学療法加算を考慮し、順次引き上げ、平成29年度は1人1日あたりの単価を9,587円、平成30年度10,203円の各実績、令和元年度及び令和2年度は10,998円とする。

なお、透析ベッドについては、開院時に5台追加し24台としているが、今後、患者数の増加を見込み、更に4台追加することが可能である。

外来収益（実績及び計画）

年 度	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2
1日平均患者数(人)	408	414	419	419
1人当たり単価(円)	9,587	10,203	10,998	10,998
年間外来収益(千円)	954,397	1,029,770	1,110,595	1,119,794

(4) その他医業収益（①室料差額、②公衆衛生活動、③その他）

①室料差額収益

室料差額収益（個室使用料）の実績（税抜）は次のとおりであるが、平成26年10月からの新病院の個室については全て1人部屋とし、合わせて利用料の見直しを行った。

(千円)

年 度	H22 (実績)	H23 (実績)	H24 (実績)	H25 (実績)	H26 (実績)
室料差額収益	33,132	32,797	29,585	31,145	44,669

有料個室（64床）及び8階女性病棟の無料個室9室を含め、ベッドコントロールの効率化を図り、病床の有効利用を図る。

室料差額収益については、平成27年度から平成30年度までは各実績を、令和元年度及び令和2年度は実績を勘案した収入を見込む。

参考までに、令和2年度の目標利用率を次表に示す。

室料差額内訳

区 分	面積	室数	病床数	利用率	税抜価格	収入額(税抜)
	(㎡)	(室)	(床)	(%)	(円)	(円)
一般 個室A	10.70	6	6	75.0	1,500	2,463,750
個室B	16.23	28	28	93.0	3,300	31,365,180
個室C	16.23	18	18	90.0	4,000	23,652,000
個室D	17.10	8	8	83.0	5,000	12,118,000
個室E	32.50	4	4	55.0	8,000	6,424,000
無料個室	9室					
合計・平均		64	64	85.7		76,022,930

②公衆衛生活動収益 (千円)

年 度	H22 (実績)	H23 (実績)	H24 (実績)	H25 (実績)	H26 (実績)	H27 (実績)
公衆衛生活動収益	88,427	89,104	98,215	90,446	86,023	92,719

実績の主な内訳は、概ね集団健診収入7000万円、予防接種収入2000万円程度で推移している。

③その他 (千円)

区分・年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27
救急医療負担金	93,058	93,200	95,704	98,725	97,888	97,608
保健衛生行政負担金	15,658	11,289	10,889	10,889	10,889	10,915
医業相談収益	17,914	20,910	17,801	20,375	31,523	32,000
その他	31,805	33,126	32,528	32,147	34,564	39,500
合 計	158,435	158,525	156,922	162,136	174,864	180,023

救急医療負担金及び保健衛生行政負担金は一般会計繰入金であり、市長部局と調整した額とした。また、医療相談収益は、人間ドック収入及び嘱託医料（現在6施設及び7事業所）であり、平成28年度以降、ドック収入の充実を見込む。

その他の主なものは文書料、貸衣料等、二次救急運営費補助金であり、文書料及び貸衣料等については実績及び実績に基づいた収入を見込む。

その他医業収益の実績及び見込み（税抜） (千円)

年 度	H30	R1	R2
室料差額収益	76,660	76,667	76,505
公衆衛生活動収益	106,411	96,888	98,756
救急医療負担金	104,622	104,073	113,335
保健衛生行政負担金	6,049	6,049	6,516
医業相談収益	36,760	37,222	38,181
その他	65,182	52,801	51,871
合 計 (千円)	395,684	373,700	385,164

(5) 医業外収益（一般会計繰入金関係）

医業外収益の大部分を占める一般会計からの繰入金の推移は次表のとおりであり、特に病院事業改革プランに基づき、病院統合に伴う退職手当償還金等の経費の補填を行っており、この財源として「病床削減時の既存交付税措置の5年間継続」に伴う普通交付税措置額も充てられている。（改革プラン等の欄参照）

①一般会計負担金（繰出基準による負担金） (千円)

区分・年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27
高度医療	14,478	14,701	22,225	14,701	14,701	14,701
企業債利息	13,938	12,312	10,483	9,659	14,854	30,339
小児医療						
一般会計負担金合計	28,416	27,013	32,708	24,360	29,555	45,040

②一般会計補助金（繰出基準による経営基盤強化補助金） (千円)

区分・年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27
研究研修費	23,951	28,301	27,675	27,257	28,791	32,080
共済追加費用	30,366	27,870	23,821	20,628	19,169	15,319
改革プラン等	190,000	250,000	70,000	100,000	88,968	297,000
医師確保対策	21,591	1,506	1,146	1,146	1,166	1,166
基礎年金拠出金	41,565	45,932	44,397	42,067	46,734	49,089
児童手当	7,848	7,362	4,936	6,176	6,300	6,190
院内保育所運営費						5,000
一般会計補助金合計	315,321	360,971	171,975	197,274	191,128	405,844

※平成26年度の改革プラン分については、新病院への移転経費等を含む。

※平成27年度数値は予算による。

③平成28年度以降についても、総務副大臣通知の「地方公営企業繰出金について（通知）」を原則とし、基準を明確化する。

また、平成27年度の院内保育所（医師会との共同利用）設置に伴う運営経費の補助については、保育児童数増加に応じて遡増させた。（補助金）

なお、一般会計からの企業債利子に対する繰入金に大きな影響を与える新病院建設に伴う企業債借入額は、事業繰越分も含め平成27年度で次表のとおりであり、また、令和元年度以降の医療機器更新に係る借入予定額は各年5,500～6,000万円とし利率は0.5%で算定した。

(6) 新病院建設に係る企業債借入状況 (P 4 参考)

①新病院建設に伴う企業債借入は、今後の財政運営に大きく影響する借入状況及び令和6年度までの元利返済計画は次表のとおりとなる。

(千円)

借入年度	借入額	借入目的	借入利率	償還終期
H24年度	124,900	病院建設	1.500%	R24年度
H25年度	924,700	病院建設	1.400%	R25年度
H26年度	2,388,600	(起債前借)	1.200%	H27年度
H26年度	1,143,400	医療機器等	0.285%	R1年度
H27年度	2,648,000	病院建設	1.100%	R25年度
借入合計	4,841,000			

※H26年度起債前借23億8,860万円は、H27年度借入26億4,800万円に統合。(病院建設)

※医療機器等には、医療機器、医事情報システム、什器備品を含む。

新病院建設に係る元金・利子の支払状況

(平成26年度～令和6年度)

(千円)

支払年度	元金	利子	元利合計額
H26	0	14,022	14,022
H27	0	35,323	35,323
H28	285,850	47,012	332,862
H29	285,850	46,197	332,047
H30	290,002	45,369	335,371
R1	321,192	44,384	365,576
R2	132,842	43,000	175,842
R3	134,419	41,423	175,842
R4	136,016	39,826	175,842
R5	137,633	38,210	175,843
R6	139,268	36,575	175,843

②企業債借入総額に係る利子の支払計画及び一般会計からの負担金の額は次表のとおりとなる。

企業債借入利子に係る一般会計繰入基準額(医業外収益)

(千円)

企業債利子支払計画(H27年度以降)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
平成14年度以前借入分×2/3	6,517	5,830	5,271	4,708	4,130	3,536	2,923	2,295	1,649	1,077
平成15年度～平成26年度借入分×1/2	15,102	9,068	8,623	8,148	7,630	7,066	6,812	6,555	6,294	6,029
平成27年度以降借入予定分×1/2	8,720	14,679	14,647	14,669	15,765	14,664	14,240	15,331	14,850	14,264
一般会計繰入金(利子分)合計額	30,339	29,577	28,541	27,525	27,525	25,266	23,975	24,181	22,793	21,370

企業債利子の支払計画(医業外費用)

(千円)

目的	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
支払利子の総額	58,257	56,239	54,446	52,808	50,939	48,845	46,541	47,236	44,761	42,243

③一般会計からの繰入金の全体計画(資本的収入を含む。)は、次表「一般会計からの繰入金基準」による。

なお、資本的収入の企業債償還金分については、資本費繰入収益を含む。

一般会計からの繰入金基準（千円）

区分	年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
収益的収入														
1	企業債利子	10,483	9,659	14,854	30,339	29,577	28,541	27,525	26,474	25,266	23,975	24,181	22,793	21,370
2	小児医療													
3	院内保育所				5,000	5,334	4,162	4,395	3,968	5,294	5,294	5,294	5,294	5,294
4	救急医療	95,704	98,725	97,888	97,608	103,701	101,402	104,622	104,073	113,335	113,335	113,335	113,335	113,335
5	高度医療	22,225	14,701	14,701	14,701	14,701	14,701	18,523	29,712	29,670	29,670	29,670	29,670	29,670
6	保健衛生	10,889	10,889	10,889	10,915	10,889	11,356	6,049	6,049	6,516	6,516	6,516	6,516	6,516
7	経営基盤強化	171,975	197,274	191,128	400,844	95,255	446,991	98,857	400,870	99,172	99,172	99,172	99,172	99,172
	(1)研究研修	27,675	27,257	28,791	32,080	33,826	31,574	32,246	33,195	32,299	32,299	32,299	32,299	32,299
	(2)追加費用	23,821	20,628	19,169	15,319	8,871	11,361	10,787	10,787	8,777	8,777	8,777	8,777	8,777
	(3)改革プラン(補助)	70,000	100,000	50,000										
	(4)改革プラン(特別)			38,968	297,000		350,000		300,000					
	(5)医師確保	1,146	1,146	1,166	1,166	1,166	1,166	2,603	2,603	1,358	1,358	1,358	1,358	1,358
	(6)基礎年金	44,397	42,067	46,734	49,089	46,864	47,151	48,137	47,912	49,901	49,901	49,901	49,901	49,901
	(7)児童手当	4,936	6,176	6,300	6,190	4,528	5,739	5,084	6,373	6,837	6,837	6,837	6,837	6,837
小計		311,276	331,248	329,460	559,407	259,457	607,153	259,971	571,146	279,253	277,962	278,168	276,780	275,357
資本的収入														
1	建設改良	30,987	10,987	83,703	8,704	9,796	4,489	3,652	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
2	企業債償還金	82,292	69,459	75,224	72,796	196,648	190,890	186,624	198,586	110,108	114,084	118,363	207,130	208,813
小計		113,279	80,446	158,927	81,500	206,444	195,379	190,276	208,586	120,108	124,084	128,363	217,130	218,813
繰出金基準額合計		424,555	411,694	488,387	640,907	465,901	802,532	450,247	779,732	399,361	402,046	406,531	493,910	494,170

④医業外収益（一般会計繰入金を除く）

これまでの実績を考慮して計上する。令和元年度以降について、産科医確保支援事業補助金330万円、公舎使用料、自動販売機及び売店設置収入、テレビ利用手数料、保育料収入等は実績勘案で計上する。

なお、令和元年度以降について、病院会計及び一般会計間の退職金負担金について、収支計画上では実績勘案で計上する。

⑤平成26年度から新会計制度が適用され、これまで償却資産の取得時の補助金等（受贈財産評価額、国・県補助金、寄附金、一般会計からの元金に対する負担金、寄附金等）について、一旦、長期前受金（負債の部 繰延収益）として整理され、減価償却見合いに応じて収益化することとされた。

⑥企業債償還金に対する一般会計負担金について、負担額と減価償却見合いに大きな差がなく財務諸表に大きな影響が生じないと判断する場合（医療機器等）は、資本費繰入収益（医業外収益）として計上する。

医業外収益に計上する長期前受金収益化額及び資本費繰入収益は次のとおり計画する。なお、資本剰余金への計上は、非償却資産（土地等）の取得に係る負担金相当額である。

長期前受金収益化計画 (千円)

年度	発生額	収益化分	除却分	残高	資本費繰入収益	(参考)資本剰余金
H26期首残高				395,497		
平成26年度	156,640	48,439	301,403	202,295		1,205
平成27年度	46,953	54,892	341	194,015	33,321	1,226
平成28年度	98,505	101,905	161	190,454	107,192	1,247
平成29年度	103,166	101,671	92	191,857	101,521	1,268
平成30年度	118,834	102,907	1,273	206,511	95,973	1,290
令和1年度	115,620	121,519		200,612	91,754	1,312
令和2年度	99,550	99,865		200,297	19,324	1,334
令和3年度	90,828	87,374		203,751	21,899	1,357
令和4年度	92,232	87,709		208,274	41,767	1,380
令和5年度	93,663	88,249		213,688	112,063	1,404
令和6年度	94,473	87,479		220,682	114,340	

※長期前受金発生額の主なものは一般会計からの償還元金に対する繰入金及び企業債対象外事業の繰入金を対象となる。

※企業債対象事業外の投資的経費については耐用年数10年とした。

(7) 特別利益

平成27年度において資金不足を解消するため一般会計から2億9,700万円繰入れた。また、平成29年度において一時借入金の削減のため、一般会計から3億5,000万円、令和元年度には3億円を繰り入れる。その他においては、固定資産売却益、過年度損益修正益等を枠計上とする。

2 病院事業費用について

1. 医業費用

(1) 給与費

(千円)

年 度	H24 (実績)	H25 (実績)	H26 (実績)
医師	347,132	347,225	357,954
看護部門	651,225	661,492	651,564
医療技術部門	217,403	202,385	184,387
事務部門	64,633	72,231	79,366
賞与等引当金			94,000
賃金等	250,771	275,298	289,332
法定福利費	273,116	266,226	264,004
退職金	139,296	184,577	75,217
退職給付引当金	0		特別損失に計上
全職員合計	1,943,576	2,009,434	1,995,824

①給与費については給料及び諸手当等で約18億円、これに退職手当を加えた額で概ね19億円から20億円程度で推移している。

給与費について、平成25年度まで職員給与の削減を実施してきたが、平成26年度は復元した。定年、普通退職者の増加に伴う若年層の雇用により給与総額はほぼ現状維持となる。また、平成27年度以降医師の増加を見込み、医師給与については増額とした。

②新会計制度による退職給付引当金は平成26年度に一括計上したので、平成27年度以降は年度末に増減分の調整を行う。

③新会計制度による賞与引当金及び賞与引当金に対応する法定福利費引当金として、約1億2,000万円を計上した。

平成27年度以降の給与費等の計画は次表のとおりとする。

なお、令和2年度以降は会計年度任用職員制度が開始されるため、賃金ではなく基本給、手当、報酬にその額が含まれることとなる。

平成27年度以降の職員数の状況及び給与費内訳

(単位：千円)

区分／年度	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
職員数	193	197	195	197	196	196	196	196	196	196
退職者数（定年）	4	1	2	6	3	5	6	3	1	5
給与費	2,085,102	2,040,204	2,180,322	2,264,256	2,212,219	2,233,101	2,233,101	2,233,101	2,233,101	2,233,101
基本給	740,613	742,941	771,005	781,183	775,654	914,270	914,270	914,270	914,270	914,270
手当	655,350	647,979	667,430	682,736	690,275	707,039	707,039	707,039	707,039	707,039
賃金	332,669	328,960	361,614	379,268	378,541	0	0	0	0	0
報酬	5,760	2,184	5,784	2,184	2,184	193,374	193,374	193,374	193,374	193,374
法定福利費	278,241	271,097	290,495	292,425	281,471	283,203	283,203	283,203	283,203	283,203
退職給付費	72,469	47,043	83,994	126,460	84,094	135,215	135,215	135,215	135,215	135,215

※医師数（常勤）については、年次的に増加とし、令和2年度以降30人として算定した。

(2) 材料費

平成26年度までの材料費の実績及び内訳は次表のとおりで、平成24年度までは、患者数に応じて11億円から12億円で推移しており、投薬・注射薬品費が材料費全体の76%を占めていた。

また、患者1人1日あたりの医療材料費の実績は5,200円程度で、材料費全体では1人1日あたり6,800円から6,900円で推移していた。

料金収入(入院及び外来収入)に対する材料費の割合は34%程度、薬品費は26%程度であったが、平成25年度は院外処方を段階的に行い、平成26年度以降は完全実施となり、患者1人1日あたりの医療材料費の実績を考慮して、料金収入(入院収益及び外来収益の合計額)に対する材料費の割合については24%、料金収入に対する薬品費の比率は14%程度となっているが、価格交渉等によりこの割合の通減を図るものとする。

①材料費の推移(実績)

(千円)

区分・年度	H23	H24	H25	H26	H27
投薬用薬品費	561,997	508,397	356,756	70,551	76,782
注射薬品費	358,712	348,290	324,908	317,291	365,029
検査材料費	46,940	44,086	45,151	44,583	48,305
X線材料費	27,604	22,890	22,415	16,294	8,888
その他材料費	200,296	197,459	213,566	204,072	256,583
給食材料費	2,212	1,600	1,706	1,282	968
医療消耗備品費	2,264	4,225	5,198	5,569	3,656
材料費 合計	1,200,025	1,126,947	969,700	659,642	760,211

②料金収入に占める材料費全体及び薬品費の割合

(千円)

区分・年度	H23	H24	H25	H26	H27
料金収入	3,494,925	3,320,281	3,253,968	2,829,067	3,256,315
材料費の割合	34.3%	34.0%	29.8%	23.3%	23.3%
薬品費の割合	26.3%	25.8%	20.9%	13.7%	13.6%

③ 患者1人1日あたりの医療材料費の実績（給食材料費を除く）

※分数について、分子は金額（千円）、分母は入院・外来患者の年間総数を示す。

患者1人1日当 医療材料費	H24	H25	H26
投薬用薬品費	$\frac{508,397}{163,347} = 3,112$ 円	$\frac{356,756}{164,519} = 2,168$ 円	$\frac{70,551}{163,878} = 431$ 円
注射用薬品費	$\frac{348,290}{163,347} = 2,132$ 円	$\frac{324,908}{164,519} = 1,975$ 円	$\frac{317,291}{163,878} = 1,936$ 円
その他	$\frac{268,660}{163,347} = 1,645$ 円	$\frac{286,330}{164,519} = 1,740$ 円	$\frac{270,519}{163,878} = 1,651$ 円
合 計	$\frac{1,125,347}{163,347} = 6,889$ 円	$\frac{967,994}{164,519} = 5,884$ 円	$\frac{658,361}{163,878} = 4,017$ 円

③ 平成29年度以降の材料費の実績及び計画

（千円）

区分・年度	H29	H30	R1	R2
薬品費（投薬、注射）	388,691	434,599	500,400	488,400
その他材料費	350,981	334,555	370,208	357,684
材料費合計	739,672	769,154	870,608	846,084
薬品費の料金収入割合	11.5%	12.7%	14.3%	13.4%
料金収入	3,372,140	3,413,588	3,492,123	3,654,487

（3）経費

経費は、業務等委託料、光熱水・燃料費等の一般管理費及び新会計制度に伴う引当金繰入額が主なものであり、平成24年度から平成26年度までの推移は次表のとおりである。

① 経費の内訳及び推移

区分・年度	H24	H25	H26
・委託料	329,828	322,363	431,046
・一般管理費	158,371	164,004	192,237
光熱水・燃料	62,339	66,063	72,461
修繕料	18,951	13,995	26,994
保険料	19,648	18,342	20,068
賃借料	20,232	26,746	25,166
その他	37,201	38,858	47,548
・引当金繰入額			4,910
合 計	488,199	486,367	628,193

②委託料の推移

平成26年度までの委託料の金額は次表のとおりである。

なお、平成26年度においては多額の病院移転経費が発生した。

(千円)

委託料	H24	H25	H26
・通常年度分	329,828	322,263	327,152
・病院移転関連経費			103,894
医療機器移転			77,937
物品搬送等			17,425
コンサル料			8,532
合計	329,828	322,263	431,046

平成27年度以降の委託料の内訳は次の額を基本として実績により設定する。

(千円)

委託内容	H27	H28	H29以降
設備保守業務			
建物・附属設備	70,400	75,000	76,500
医療機器	31,000	35,000	41,000
清掃等	24,300	24,300	24,300
業務			
医事業務	63,800	63,800	67,800
給食・材料	81,000	85,000	88,000
リネン	29,500	30,000	32,600
医療廃棄物処理	12,200	13,000	18,200
外注検査	24,000	30,000	38,200
電算関係			
医事システム等	62,000	65,000	65,000
院内保育所	11,000	22,000	22,000
その他	10,500	10,500	24,700
合計	419,700	453,600	498,300

※ 新病院で増加した理由は、①エネルギー設備関係の24時間保守体制の確保、②医事システムについて、画像保存通信システム（パックス）の導入、③医療機器については高度化に伴う保守料の増加、④清掃について、面積が旧病院に比べ3割程度増加、また、個別トイレの増加等による、⑤院内保育所は、平成29年度で定員数の25名に達するとし、委託料を算定した。

③一般管理費の今後の計画

光熱水費及び燃料費については、床面積増加分35%（12,940㎡→17,368㎡）及び新規医療機器の導入、入院環境の整備、照明機器等の増加及び社会的要因も含め、全体で40%程度増加が見込まれるが、省エネ対策に伴う各種設備（コージェネレーション、太陽光、太陽熱、地中熱、雨水利用、LED等）の利用等を含め、従来の20%程度の軽減を想定し、実質的に20%程度の増加を見込む。

修繕料は、建物及び医療機器等の修繕を含め実績を踏まえた額とする。

賃借料は、現行の金額で算定（医療機器、病室カーテン、マット等の借上料）し、その他の経費についても据え置く。

一般管理費内訳（実績及び計画）

(千円)

区分・年度	H28	H29	H30	R1	R2
光熱水・燃料	53,732	61,148	64,972	67,156	66,545
修繕料	16,651	11,928	17,042	33,334	29,455
保険料	11,611	13,340	12,852	13,284	13,284
賃借料	25,896	27,119	26,831	27,523	30,545
その他	45,923	46,853	46,574	61,633	56,424
一般管理費 合計	153,813	160,388	168,271	202,930	196,253

平成26年度は、移転に伴う各種経費、駐車場の借上等、一時的に一般管理費が増加となった。

④新会計制度を踏まえ、一般管理費に貸倒引当金を計上する。

貸倒引当金以外は当面枠計上とした。

引当金計上額

(千円)

区 分	H26年度計上額	備 考
貸倒引当金	10,000	過去の実績を考慮。
修繕引当金	10	今年度未実施額について計上
特別修繕引当金	10	法令等の規定が必要

経費の実績と今後の見込

(千円)

経費内訳	H29	H30	R1	R2
委託料	491,496	491,624	504,669	528,600
一般管理費	160,388	168,271	202,930	196,253
合 計	651,884	659,895	707,599	724,853

(4) 減価償却費

新病院建物完成後において、新病院建設に伴う建物・構築物、医療機器及び除却対象でない資産等（職員宿舎、院内保育所等）について減価償却費を算定した。（別表）
減価償却予定表は次ページ（P 2 2）のとおりとなる。

(5) 資産減耗費

棚卸資産減耗費並びに医療機器及び什器備品等の固定資産除却費を平成27年度以降は実績数値とし、令和元年度及び令和2年度は実績勘案の数値を計上した。

(6) 研究研修費

専門研修経費や図書費で、平成27年度以降は実績数値とし、令和元年度及び令和2年度は実績勘案の数値を計上した。

(7) 控除対象外消費税（投資的事業に係る消費税等）

長期前払消費税（固定資産投資その他の資産）として引き続き繰延経理を行い、医療機器については5年、建物及び附属設備については15事業年度以内で均等額以上を償却する。

また、控除対象外消費税償却費は、平成25年度までは医業外費用とされていたが長期前払消費税償却費として医業費用に計上することとなった。

長期前払消費税償却費

(千円)

区分・年度	H 2 7	H 2 8	H 2 9	H 3 0	R 1	R 2 (予定)
長期前払消費税償却	34,435	39,156	38,781	37,778	26,753	27,689

減価償却予定表 27年度以降見込み

(単位:千円)

取得年度	取得額	目的	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
26年度以前		建設事業	19,100	14,073	14,049	13,633	13,633	13,633	13,633	13,503	13,299	13,110
26年度以前		医療機器等	50,096	44,504	35,333	22,679	10,045	2,064	68	68	49	25
平成26年度	4,275,244	建設事業	187,562	187,563	187,563	187,563	187,563	187,563	187,563	187,563	187,563	187,563
平成26年度	1,268,629	医器・電算	201,849	201,849	201,849	201,819	174,576	142,156	53,214	6,647	4,474	4,025
平成27年度	556,114	建設事業		26,856	26,856	26,856	26,856	26,856	26,856	26,856	26,856	26,856
平成27年度	51,429	医療機器等		8,386	8,386	8,386	8,386	8,137	3,679	1,633	1,101	662
平成28年度	48,476	医療機器等			8,030	8,030	8,030	8,030	6,371	3,719	1,512	757
平成29年度	95,156	医療機器等				13,792	13,792	13,792	13,792	13,646	9,026	5,539
平成29年度	11,930	DMAT車庫				354	354	354	354	354	354	354
平成29年度	4,220	車両				630	630	630	630	630	630	229
平成30年度	62,068	医療機器等					8,579	8,579	8,579	8,579	8,392	6,617
令和1年度	64,815	医療機器等						11,667	11,667	11,667	11,667	11,667
令和2年度	31,818	備蓄タンク							1,919	1,919	1,919	1,919
令和2年度	63,636	医療機器							11,455	11,455	11,455	11,455
令和3年度	186,636	医療機器								70,458	70,458	70,458
令和3年度	495,000	電子カルテ								89,100	89,100	89,100
令和4年度	63,636	医療機器等									11,455	11,455
令和5年度	245,455	医療機器等										44,182
合計			458,607	483,231	482,066	483,742	452,444	423,461	339,780	447,797	449,310	485,973

2. 医業外費用

(1) 支払利息

①企業債利息は、新病院建設に伴う企業債借入利息が主なもので、平成27年度から平成30年度までは実績を、令和元年度は医療機器の定期的な更新による借入れとして6,000万円、令和2年度は医療機器の更新による借入れとして6,000万円及び非常用電源設備の借り入れとして1,500万円を見込み、企業債利息を算定した。

借入利率は、0.5%とし算定する。

企業債利息の支払実績及び予定は次のとおりとする。(詳細は次ページのとおり。)

企業債利子の合計額 (千円)

区分・年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2
企業債利子	58,257	56,239	54,446	52,808	50,995	48,845

②一時借入金利子は、平成26年度末残高5億5,000万円で、年次的に解消することとし、平成27年度から平成30年度までは実績額、令和元年度と令和2年度は平均借入残高を2億円と設定し、借入利率を1.475%で算定した。

一時借入金利子の推移 (実績及び見込)

(千円)

区分・年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
一時借入金利子	8,614	3,368	3,443	442	2,950	2,950	2,950

③長期借入金利子は一般会計及び工業用水道事業会計からの借入金利子で、支払実績及び予定額は次のとおりとする。なお、工業用水道事業会計からの借入金は償還期限を延長する計画とする。

(千円)

区分・年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
長期借入金利子	1,435	1,386	1,337	1,065	792	528	264

④支払利息の合計額

(千円)

区分・年度	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
企業債利子	58,257	56,239	54,446	52,808	50,995	48,845	46,541
一時借入金利子	8,614	3,368	3,443	442	2,950	2,950	2,950
長期借入金利子	1,435	1,386	1,337	1,065	792	528	264
合計	68,306	60,993	59,226	54,315	54,737	52,323	49,755

平成 27年度以降について、既借入額及び借入予定額についての利子の支払計画(H27～R6)

千円

借入年度		目的	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
26 年度以前	432,000	特例債	837	0								
26 年度以前		事業債	39,979	27,014	25,152	23,358	21,454	19,436	18,054	16,551	15,061	13,546
平成 27 年度(H26 建物本借入)	2,648,600	本借入	17,441	29,134	29,135	29,135	29,135	28,868	27,799	26,717	25,623	24,518
平成 27 年度	39,400	医療機器等		91	88	65	42	18				
平成 28 年度	32,200	医療機器等			71	68	50	32	14			
平成 29 年度	93,600	医療機器等				182	181	132	85	37		
平成 30 年度	46,700	医療機器等					77	74	55	35	15	
令和 1 年度	60,000	医療機器等						285	281	206	131	56
令和 2 年度	55,000	医療機器等							881	258	189	120
令和 2 年度	30,000	備蓄タンク								45	45	44
令和 3 年度	190,300	医療機器等								877	892	654
令和 3 年度	544,500	電子カルテ								2,510	2,552	1,872
令和 4 年度	55,000	医療機器等									253	258
令和 5 年度	255,000	医療機器等										1,175
小計			58,257	56,239	54,446	52,808	50,939	48,845	47,168	47,236	44,761	42,243
	合 計		58,257	56,239	54,446	52,808	50,939	48,845	47,168	47,236	44,761	42,243

※ 企業債借入利率について、令和元年度以降の計画は、医療機器等 0.5%で算定している。

(2) その他の医業外費用

- ①雑支出（消費税及び地方消費税）について、損益計算書（収支計画）では各経費は税抜きで計上しており、消費税等相当額について雑支出に一括して計上することとなる。平成26年度から消費税等が8%となったこと、及び令和元年10月から税率を10%として算定する。
- ②退職金負担金は、過去の病院在職者の退職に伴い、在職期間に応じて一般会計に負担する経費である。
- ③患者外給食材料は平成27年度から平成30年度までは実績値、令和元年度及び令和2年度は実績勘案の数値を計上する。
- ④平成26年度までの実績及び平成28年度以降の実績及び計画は次のとおりとなる。

平成26年度までの実績

(千円)

区分・年度	H24	H25	H26	備考
雑支出	77,057	69,709	77,936	消費税等
繰延勘定償却費				
控除対象外消費税	5,095	5,802	17,439	長期前払消費税償却
退職給与金	139,762	12,368		
退職金負担金	6,888	18,235	9,795	他会計への負担金

平成28年度以降の支払実績及び計画

(千円)

区分・年度	H28	H29	H30	R1	R2
雑支出（消費税分）	101,231	106,187	108,363	132,045	151,069
退職金負担金	18,326	23,169	13,980	12,934	8,660
患者外給食材料	618	426	26	661	655

3. 特別損失

災害損失、過年度損益修正損等であるが、枠計上とし101万円とする。

3 資本的収入及び資本的支出について

資本的支出

- (1) 建設改良費については、企業債対象事業として、平成28年度以降は実績を、また、令和2年度以降は医療機器等更新計画に基づき、必要な額を計上した。
- (2) 平成27年度以降元金償還金の推移、及び一般会計からの元金償還額に対する繰入予定額は次表のとおりとなる。
- (3) 病院特例債及び他会計からの長期借入金の償還
建設事業以外に充てた企業債は、病院統合に伴う山陽市民病院の不良債務の整理及び病院改革プランに伴うものであり、これまで退職手当債は、平成25年度で償還済みであるが、病院特例債は平成27年度で償還が終了する。工業用水道事業会計からの長期借入金3億5,000万円については、病院建設に係る借入金等の返済が多額であり病院事業の資金状況も厳しく、借入期限を更に延長する計画とし、次のとおりとする。

病院特例債及び長期借入金の返済計画

(千円)

区 分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
病院特例債	87,478	88,582	0					
工水会計長期借入金 (総額 350,000)	変更後	10,000	10,000	66,000	66,000	66,000	66,000	66,000
	変更前	87,500	87,500	87,500	87,500	0		
一般会計長期借入金	21,660	21,660	21,660	21,660	21,700	0		

資本的収入

- (1) 企業債収入は平成30年度までは実績を、令和2年度以降は医療機器等更新計画に基づき、必要な額を計上した。
- (2) 企業債対象外の投資的経費に対する一般会計負担金は各年度1,000万円とする。
- (3) 補助金・寄附金等は枠計上とする。

H26年度までの投資予定額（企業債借入額）及び公債費元金償還額

（千円）

区 分	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R6末 残高	借入総額
-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	----	----	----	----	----	-----------	------

1. 建物・構築物

H6 泌尿器科建物	3,347	3,505	3,670	3,842	4,023	4,212	4,411	4,618	4,835	5,063	5,301	43,481	80,600
H8 腎・透析センター	6,975	7,172	7,374	7,582	7,795	8,015	8,241	8,474	8,713	8,958	9,211	100,743	177,900
H11 職員宿舎建物	16,050	16,373	16,702	17,038	17,380	17,729	18,086	18,449	18,820	19,198	19,584	179,359	352,400
H11 職員宿舎設計	820	834	849	863	878	893	908	924	939	955	0	8,044	56,700
H11 職員宿舎土地	1,808	1,839	1,870	1,902	1,934	1,968	2,001	2,035	2,071	2,106	0	17,725	

2. 改革プランによる繰上償還免除分

H8 破碎室改修	353	363	373	384	394	405	417	429	441	453	466	5,097	9,000
H9 本館東2・3F	1,464	1,495	1,527	1,559	1,592	1,625	1,660	1,695	1,730	1,767	1,804	22,097	37,800
H10 血管造影室	724	740	755	771	788	804	821	839	856	874	893	11,905	19,100
H19 高圧盤・受電盤	1,268	1,290	1,312									2,602	9,900
H19 MRIシールド	2,639	2,668	2,697	2,727								8,092	21,000
H20 S61分借換	22,840	22,860										22,860	159,900
H21 ナースコール	1,406	1,418	1,431	1,444	1,457	1,470						7,221	11,400
H24 S61分借換	6,450	6,450	6,450									12,900	25,800

3. 新病院建設に伴う借入分

H24 財務局 建物	0	0	0	0	4,152	4,214	4,278	4,342	4,407	4,474	4,541	124,900	124,900
H25 財務局 医療機器	0	11,540	11,563	11,587	11,610							46,300	46,300
H25 山銀 医療機器	0	5,900	5,900	5,900	5,900							23,600	23,600
H25 財務局 建物	0	0	0	0	0	31,128	31,566	32,009	32,459	32,915	33,377	924,700	924,700
H26 山銀 医療機器		0	285,850	285,850	285,850	285,850						1,143,400	1,143,400
H26 財務局 建物	起前	本借入	0	0	0	0	0						2,388,400
H27 財務局 建物	26 繰越分	本借入	0	0	0	0	0	上に統合					260,200

4. 医療機器等

H22 銀行	8,850	8,850										8,850	35,400
H23 財務局	6,241	6,259	6,278									12,537	25,000
H23 銀行	6,350	6,350	6,350									12,700	25,400
H24 財務局	12,481	12,494	12,506	12,519								37,519	50,000
H24 銀行	6,650	6,650	6,650	6,650								19,950	26,600

5. 上記の年度別区分

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R6末 残高
合計(元金償還)	125,050	380,107	360,618	343,753	358,313	72,389	73,814	75,271	76,763	75,177	2,796,582
H14年度以前	61,631	39,570	33,941	34,784	35,651	36,545	37,463	38,405	39,374	37,259	424,211
H15年度以降	63,419	340,537	326,677	308,969	322,662	35,844	36,351	36,866	37,389	37,918	2,372,371

一般会計からの建設事業債元金償還繰入予定額及び企業債対象外事業負担金

(千円)

企業債償還計画(H27以降)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
平成14年度以前借入分×2/3	41,086	26,379	22,626	23,190	23,769	24,363	24,975	25,603	26,249	24,839
平成15年度～平成26年度借入分×1/2	31,710	170,269	163,339	154,485	161,331	17,922	18,176	18,433	18,695	18,959
平成27年度以降借入予定分×1/2	0	0	4,925	8,950	13,486	67,823	70,933	74,327	162,186	165,015
一般会計繰入金(償還金分)合計額	72,796	196,648	190,890	186,625	198,586	110,108	114,084	118,363	207,130	208,813

区 分	H27	H28	H29	H30	R1	R2以降
建物附属設備及び医療機器等更新	8,704	9,796	4,489	3,652	3,249	3,249

資本的収支（資本的収入－資本的支出）の不足額については、平成28年度から平成30年度の3年間について、病院建設に伴う、医療機器、医事システム企業債の償還金の影響及び長期借入金の償還金の影響が大きく4億円程度の不足を見込む。

また、令和2年度から病院建物本体借入に係る償還が始まることから、1億5,000万円程度の不足が生ずる。

資本的収支の状況

(千円)

資本的収入	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
企業債	299,600	32,200	93,600	46,700	60,000	75,000	734,800	55,000	255,000	155,000
建設改良費負担金	8,704	9,796	4,489	3,652	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
企業債元金負担金	72,796	196,648	190,890	186,624	198,586	110,108	114,084	135,379	207,129	208,813
資本費繰入収益調整	△33,321	△107,192	△101,521	△95,973	△91,754	△19,324	△21,899	△41,767	△112,063	△114,340
補助金			10,576							
寄附金		500		25,821	100	100	100	100	100	100
合計	347,779	131,952	198,034	166,824	176,932	175,884	837,085	158,712	360,166	259,573

資本的支出	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
建物、構築物等	330,442	605	12,884		2,750	35,000	5,000	5,000	5,000	5,000
医療機器・備品	55,543	51,750	102,769	67,034	70,000	70,000	749,800	70,000	270,000	170,000
車両運搬具			4,557							
企業債償還金	125,050	380,107	370,467	361,653	399,614	222,359	230,004	238,252	401,136	405,207
長期借入金償還金	31,660	31,660	87,660	87,700	66,000	66,000	66,000			
特例債償還金	88,581	0								
合計	631,276	464,122	578,337	516,387	538,364	393,359	1,050,804	313,252	676,134	580,207

資本的収支不足額	283,497	332,170	380,303	349,563	361,432	217,475	213,719	154,540	315,970	320,634
----------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

